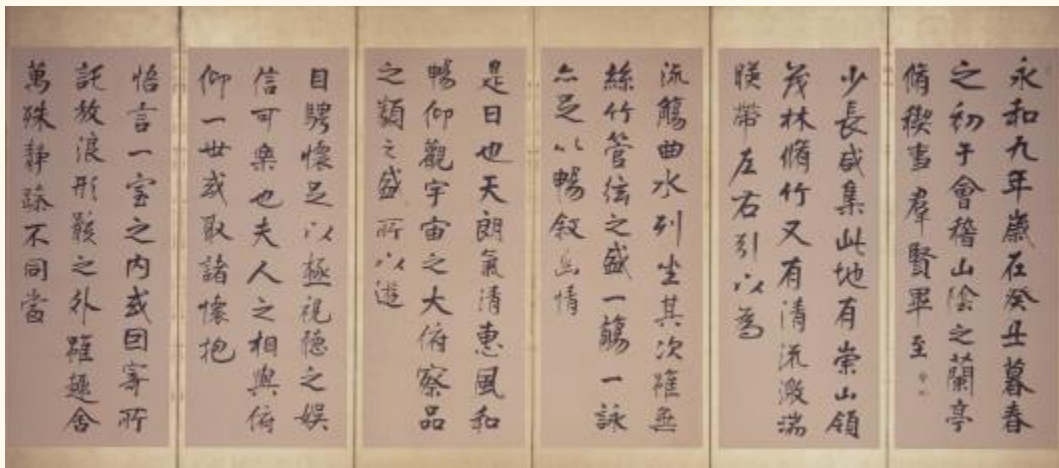


企画展

# 近世堺の豪商 米屋甚兵衛の家業と文化



清酒醸造所引札、近代(明治以降「米谷」姓を使用していた時のもの) [堺市博物館蔵]



趙陶齋《蘭亭序屏風》右隻、天明4年(1784)米屋甚兵衛家旧蔵 [堺市博物館蔵]

令和6年11月2日(土) — 令和7年1月13日(月・祝)

時間 9:00～18:00(最終入館17:30)

休館日 第3火曜日(11月19日・12月17日)、年末年始(12月29日～1月3日)

会場 さかい利晶の杜 企画展示室

観覧料 大人300円、高校生200円、中学生以下無料

※「千利休茶の湯館」「与謝野晶子記念館」の観覧券でご覧いただけます。

※障がいのある方と介助者、堺市内在住65歳以上の方は無料

主催 堺市

SAKAI  
RISHO  
NO  
MORI

さかい利晶の杜

Sakai Plaza of Rikyu and Akiko

企画展

# 近世堺の豪商 米屋甚兵衛の家業と文化

堺宿院は、近世都市堺の商業の中心地でした。現在のさかい利晶の杜の敷地内には、豪商米屋甚兵衛が店を構え、米甚の通称で酒造業を営んでいました。建物は80年前の昭和19(1944)年、第二次世界大戦下の建物疎開で取り壊されましたが、当館の観光案内展示室のジオラマ模型にその姿が再現されています。

米屋甚兵衛の酒は「八千世」の銘柄で知られ、廻船で北陸地方などへも運ばれています。商いで得られた富は金融などで増やされ、その富は堺の文化を育むことへも向けられました。18世紀の儒者・書家として知られた趙陶斎(1713～1786)は、堺の商人たちの援助をうけ58歳から堺に留まり創作活動に励み、その書画が米屋甚兵衛のもとに多く残されました。

堺市博物館は、戦災を免れた米屋甚兵衛の史料と書画を多数所蔵しています。本展では、ゆかりの地である宿院のさかい利晶の杜にそれらを展示し、米屋甚兵衛の家業と文化の一端をご紹介します。

華々しい中世都市堺に比べて、静かなイメージの近世都市堺ですが、そこには平和で安定した生活を営む町衆が暮らしていました。一攫千金の夢はなくても、多くの人たちが平安と繁栄を享受する成熟した社会が実現していました。米屋甚兵衛の家業と文化をとおして、近世都市堺の魅力に触れていただければ幸いです。



米甚外観(取りこわし前の姿) [堺市立中央図書館蔵]



酒造鑑札(表) [堺市博物館蔵]



趙陶斎《いろは屏風》天明3年(1783) [堺市博物館蔵]

## 〈関連イベント〉

### ●当館学芸員による学芸講座「近世堺—持続可能な都市社会—」

日 時:11月30日(土) 14:00～15:30

会 場:茶室広間

申込み:11月2日(土) 9:00～、先着40名

### ●当館学芸員による展示解説

日 時:12月1日(日) 14:00～14:20

会 場:企画展示室

申込み:不要、直接会場へお越しください

### ●開館10周年 シンポジウム「利晶の杜で知る近世都市の魅力」

日 時:令和7年1月12日(日) 14:00～16:00

会 場:2階講座室

登壇者: 摂泉堺郷土史研究所長 吉田 豊氏  
元大阪公立大学准教授 岡田 光代氏  
当館学芸員 矢内 一磨

申込み:12月10日(火) 9:00～、先着40名

いずれも参加費無料 ※展示観覧券が必要です  
予約サイトまたはお電話にてお申込みください。  
予約サイト [レゼルバ] 電話:072-260-4386



SAKAI  
RISHO  
NO  
MORI

## さかい利晶の杜

Sakai Plaza of Rikyu and Akiko

千利休茶の湯館

茶の湯体験施設

与謝野晶子記念館

観光案内展示室

〒590-0958 大阪府堺市堺区宿院町西2丁1-1

電話:072-260-4386 FAX:072-260-4725

<https://www.sakai-rishonomori.com>

さかい利晶の杜

検索

